

特集 《羽ばたく千歳の未来》の実現



令和5年第2回定例会市議会が、6月15日から開催されました。横田市長は市議会の開会に当たり、新市長として、9万8千市民が暮らしやすく、活力あふれるまちをめざす決意を表明するとともに、令和5年度の市政執行方針を明らかにしました。

今月の特集では、市長の執行方針と4月の統一地方選挙のための《高格予算》となっていた予算の補正《政策予算》などについて紹介します。

令和5年度 市政執行方針

市政に臨む基本姿勢

本質的なものを大事にしつつ、新しい変化も取り入れる「不易流行（ふえきりゅうこう）」の精神のもと、これまでの行政経験を活かし、現場重視の姿勢で、市民や団体、事業者、企業の皆さまとの積極的な対話を通じ、その時々々に生じる様々な課題の解決と先駆的な取り組みに果敢に挑みます。

政策の基本

市民生活の基盤となる「安全・安心」と、まちの勢いを持続するための「経済活性化」の両輪を進めるため、「安全・安心・健やかに、活力にあふれ、快適に過ごせる、持続可能な千歳の未来の実現、空港開港100年の歴史を次の世代へつなぐ」を政策の基本として掲げました。

また、第7期総合計画の7つの基本目標に基づき各施策や事業を着実に進め、人口増加が持続する活力あふれるまちづくりに向けて取り組むことで将来都市像「人をつなぐ、世界をつなぐ空のまちちとせ」の実現を目指します。

5つの重要課題

- ・次世代半導体製造拠点整備への対応
- ・新型コロナウイルス感染症や現下の物価高騰への取組
- ・子育て支援と教育の充実
- ・空港開港100年に向けた取組
- ・カーボンニュートラル、デジタルトランスフォーメーションを意識したまちづくりの推進

5つの政策の柱

- ・安全・安心、健やかなまちづくり
- ・人を育むまちづくり
- ・活力あふれるまちづくり
- ・快適に暮らせるまちづくり
- ・まちを支える基盤づくり

羽ばたく千歳の未来

実現

《今後のまちづくり》における5つの重要課題への対応

次世代半導体製造拠点整備への対応

千歳美々ワールドへのラピダス（株）の工場立地は、国家プロジェクトへの貢献や、本市のさらなる発展が期待される事業です。国や北海道のほか、関連企業などと連携し、工場建設が円滑に進められるよう、必要な調査やインフラ整備にスピード感を持って取り組めます。また、ラピダス社の進出にともなう影響や効果を分析し、半導体関連産業の集積をはじめ、将来のまちづくりの方向性を示す《将来ビジョン》の策定準備を進めます。



新型コロナウイルス感染症や現下の物価高騰への取組

新型コロナウイルス感染症は、5月8日から季節性インフルエンザウイルス感染症と同等の《5類》になり、コロナと共存する段階となりました。しかし、市民の生命と健康を守る取組は重要であるため、引き続き、医療体制の充実とともにワクチン接種体制の確保や、正しい情報提供などに努めます。

また、市立千歳市民病院内の医師等の確保などによる診療体制の強化や、医療従事者の業務の一部を他の職種で分担する取り組みを進め、救急・高度医療、小児・周産期医療の充実や地域医療の連携に努めます。また、新興感染症に対応する体制や施設の整備のほか、医療制度改革などの医療を取り巻く環境の変化に的確に対応し、地域の基幹病院としての役割を果たします。

市民生活や事業者、企業の

活動に多大な影響を与えている物価高騰に対しては、市民生活の支援と市内における消費回復、地域経済の活性化を目的として《ちとせ市民応援商品券2023発行事業》を実施しています。また、物価高騰の影響を大きく受ける低所得世帯への負担軽減策として、住民税非課税世帯に3万円の給付を実施するなど、市民の生命と健康、生活の安定を守る施策を展開します。

子育て支援と教育の充実

育児期間の経済的負担を軽減するため、小学生までの子どもの医療費を、令和5年8月診療分から《原則無料化》します。



小中学校における学習環境の充実として、AI搭載型の

デジタルドリルを導入し、授業や家庭学習の場における、学習者用コンピュータの積極的な活用と、学力向上に向けた環境づくりを進めます。

また、今後2か年で全小中学校の保健室にエアコンを設置するなど、より質の高い子育て・教育環境を提供します。

空港開港100年に向けた取組

令和8年には、当時の千歳村民が総出で1本の着陸場を造り、旧小樽新聞社の北海道第1号が降り立った大正15年から数え、100年を迎えます。この節目が記憶に残る年となるよう、機運の醸成や令和8年に行う記念事業の検討などを進め、《空港があること誇り》を後世に伝え、まちの更なる魅力向上につなげます。



カーボンニュートラル、デジタルトランスフォーメーションを意識したまちづくりの推進

千歳市《ゼロカーボンシティ宣言》をふまえ、脱炭素社会の実現に向けた目標の設定や、具体的な脱炭素シナリオを盛り込んだ《地方公共団体実行計画区域施策編》をつくり出します。また、国立公園において脱炭素化に取り組む《ゼロカーボンパーク》については、地域が主体となり支笏湖地区で進める《支笏湖版脱炭素シナリオ》の構築を支援するなど、カーボンニュートラルの取組を成長の機会とし、支笏湖や空港、工業団地などの更なる魅力向上につなげます。

デジタルトランスフォーメーションの取組については、市役所と支所の窓口4か所にセミセルフレジを導入するほか、市内の各公共施設の空き状況の検索や、利用予約などをオンラインで行える公共施設予約管理システムを新たに導入し、市民の利便性を高めます。



《政策の5つの柱》 と主な事業

安全・安心、 健やかなまちづくり

▼障がいのある方を含め、誰もが円滑に意思疎通を図ることができるよう、「コミュニケーション条例」の制定に向け検討を進めます。

▼医療的ケア児の日常の活動を支援するため、看護師を派遣する費用の一部を助成します。

▼地域における防災の取組に支援するほか、防災拠点施設や指定避難所における給水装置の耐震化を進めます。

▼国民保護訓練を実施し、有事における防災関係機関などとの認識の共有を図ります。

▼消防総合庁舎の大規模改修や、消防車両および消防用資機材の更新整備を進めます。また、災害現場や救助捜索活動で活用するため、災害対応ドローンを導入します。

人々を育むまちづくり

▼環境センター破砕処理場の事故防止対策強化に向けた施設改修を行います。また、令和6年度の供用開始に向けた新焼却施設の整備を行うとともに、整備後のごみ分別区分の変更にもなう、ごみステーション看板の更新や、ごみ分別の手引きの全戸配布を行います。

▼航空機騒音に対する住宅防音工事は、予算の確保や《制度の拡充》を国に対し強く要望します。



▼産後ケア事業の訪問型ケア対象者を《出産後1年未満》の母子までに拡充します。また、妊婦の歯科健診の受診費用を助成します。

▼教育・保育施設の使用済みおむつを各施設で処分ができるよう支援を行い、保護者や施設の負担を軽減します。

▼より安全で安心な学校給食を提供できる学校給食センターを整備するため《新学校給食センター整備基本計画》をつくりまします。

▼優良農地の確保や、農業経営の強化、健全な森林の維持など、地域資源を活かし、次世代につなぐべく農林業を進めます。

▼地域産木材を活用した《ファーストスプーン》や

木製遊具との触れ合いを通じて、木材の良さや利用の意義を学ぶ木育活動を進めます。

▼空き店舗の利活用の促進や、新規開業支援資金の利用者に対する利子補給を行います。また、有望なまちづくりプレイヤーを支援し、官民連携による持続可能なまちづくりを進めます。

▼求人と求職のマッチングなどにより市民の就労を支援するほか、市内企業の人材確保を支援します。

▼企業の誘致活動を進めるほか、立地企業をサポートするための意見交換や訪問活動などを積極的に進めます。

▼アジアを中心とした海外向け観光プロモーション活動を進めるほか、9月に道内で開催される体験型観光の国際イベント《アドベンチャートラベル・ワールド・サミット》において、本市の魅力を発信します。



快適に暮らせる まちづくり

▼除雪車両の計画的な更新や、除排雪業務のデジタル化による迅速な対応に努めます。

▼持続可能な公共交通の維持・確保に努めるとともに、安全で快適な千歳駅前広場の再整備を行います。

▼中心市街地については、《ちとせ未来ビジョン》の実現に向け、グリーンベルト周辺エリアの魅力を高め、民間投資を誘発する手法を検討するため調査・分析を行います。

▼上下水道施設の重要度、優先度を踏まえた計画的な

施設更新を行います。また、避難所や病院など、重要給水施設への配水管路の耐震化、汚水管の更生事業を行います。

▼ピダス社の試作ラインに必要な水を供給するため、水道管の整備や、工場地を一体的に利用するための既存の下水道管の敷設替えを進めます。



まちを支える 基盤づくり

▼WiFi環境を、コミュニティセンターや東雲会館、末広会館に拡大します。また、新たな地域コミュニティの拠点として、《大和地区コミュニティセンター》の令和9年度中の供用開始に向けた準備を進め



ます。

▼アイヌの人々が伝統活動に活用するため、樹木や草花などを育成する、イオル再生事業に取り組みます。

▼住まいや子育て、生活環境などの情報を集約した《移住情報ポータルサイト》を新たに開設します。



令和5年度補正予算 【主な追加事業の内訳】

- 安心・安全、健やかなまちづくり
 - 医療的ケア児支援事業費 1, 112千円
 - 千歳美々ワールド周辺環境影響調査事業費 2, 126千円
 - 災害対応ドローン整備事業費 6, 113千円
 - 家庭ごみ適正排出啓発事業費 6, 096千円
 - 支笏湖ゼロカーボンパーク推進事業費 1, 733千円

- 人を育むまちづくり
 - 産前・産後ケア事業費 2, 198千円
 - 妊婦歯科健康診査事業費 1, 413千円
 - 教育・保育施設使用済みおむつ処分推進事業費 1, 3, 473千円
 - 小学校改修事業費 1, 5, 297千円
 - 小学校ICT機器等整備事業費 1, 113, 037千円
 - 中学校ICT機器等整備事業費 2, 2, 028千円

- 活気あふれるまちづくり
 - 経営継承・発展等支援事業費 3, 000千円
 - 中小企業対策支援事業費 1, 700千円
 - 次世代半導体拠点推進事業費 5, 000千円
 - 外国人旅行者誘客事業費 5, 875千円
 - 2026ちとせ・空港開港100年記念事業費 1, 2, 450千円

- 快適に暮らせるまちづくり
 - 官民連携まちなか活性化推進事業費 2, 7, 224千円
 - 市道整備事業費 3, 67, 940千円
 - 地域公共交通利用促進事業費 1, 780千円
 - GPS除雪情報システム整備事業費 1, 4, 890千円

- まちを支える基盤づくり
 - 公共施設WiFi環境整備関連予算 6, 494千円
 - 公共施設予約システム導入関連予算 6, 346千円
 - キャッシュレス決済対応レジ導入関連予算 1, 6, 732千円
 - 工力シ・フ子聞き取り事業費 1, 100千円

令和5年度会計別予算額

(6月15日第2回定例市議会提出予算)
()内は政策予算分(第4回)補正額

一般会計	490億6,100万7千円
	(13億8,240万1千円)
特別会計	154億1,281万6千円
国民健康保険	79億4,968万円
土地取得事業	38万円
公設地方卸売市場事業	6,400万5千円
霊園事業	2,502万6千円
介護保険	60億8,575万9千円
後期高齢者医療	12億8,796万6千円
合計	644億7,382万3千円
	(13億8,240万1千円)

《一般会計の歳入内訳》

一般財源	295億5,657万9千円
	(4億1,034万3千円)
特定財源	195億442万8千円
	(9億7,205万8千円)
合計	490億6,100万7千円
	(13億8,240万1千円)

※公営企業会計を除きます。

記事のお問い合わせ

市政執行方針について	企画課企画調整係 ☎(24)0439
予算について	財政課財政係 ☎(24)0541